

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型



〈ファンド情報〉

略称	SMDAM トピックス
取引所	東京証券取引所
対象指数	TOPIX
売買単位	10口
証券コード	2557
ISINコード	JP3048970002
Bloombergコード	2557 JP 〈Equity〉

ファンドの特徴

東証株価指数（TOPIX）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

- 信託財産の1口当たりの純資産額の変動率をTOPIXの変動率に一致させることを目的として、TOPIXに採用されている銘柄（採用予定の銘柄を含みます。）の株式に投資します。
- 信託財産中に占める個別銘柄の株数の比率は、TOPIXにおける個別銘柄の時価総額構成比率から算出される株数の比率程度を維持することを原則とします。

※詳しくは5枚目をご覧ください。

東証株価指数（TOPIX）の概要

東証株価指数（TOPIX）とは日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する株価指数です。

日本の株式市場を投資対象とする金融商品の運用目標や評価の基準（ベンチマーク）として広く利用されています。

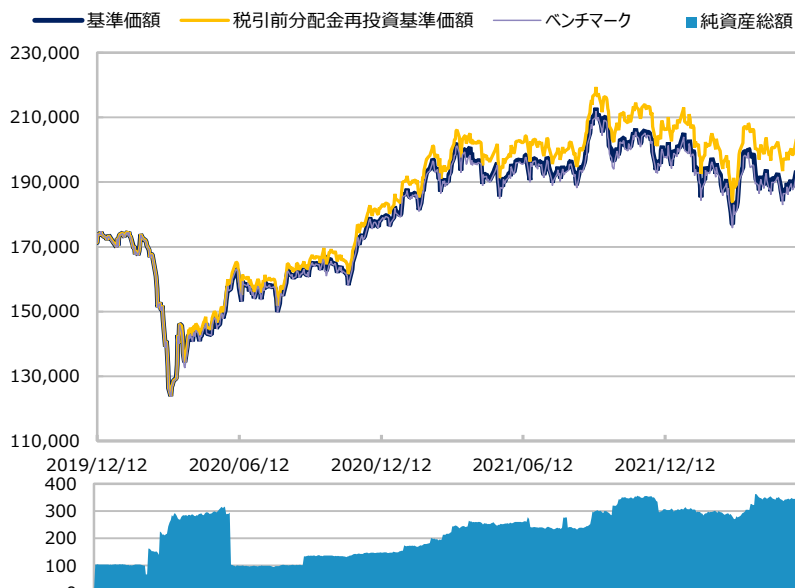
SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式 / E T F / インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

ファンド設定日：2019年12月13日

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、TOPIXです。ファンド設定日の前営業日の基準価額に基づき指数化しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	192,489	+1,430
純資産総額（百万円）	35,182	+261

■ 基準価額は100口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 カ月	2022/04/28	0.7	0.7
3 カ月	2022/02/28	2.5	1.4
6 カ月	2021/11/30	0.5	-0.8
1 年	2021/05/31	1.7	-0.5
3 年			
設定来	2019/12/13	18.1	11.7

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、売却時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2020/04/08	1,845
第2期	2020/10/08	1,335
第3期	2021/04/08	1,726
第4期	2021/10/08	1,674
第5期	2022/04/08	2,183
設定来累計		8,763

※ 分配金は100口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	97.7	-0.1
プライム	97.2	-0.0
スタンダード	0.6	-0.0
グロース	0.0	0.0
その他	0.0	0.0
先物等	2.2	+0.0
現金等	0.0	+0.0
合計	100.0	0.0

運用概況

当月末の基準価額は、192,489円（前月比+1,430円）となりました。また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+0.7%となり、ベンチマークの月間騰落率は+0.7%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
 ※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式 / E T F / インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

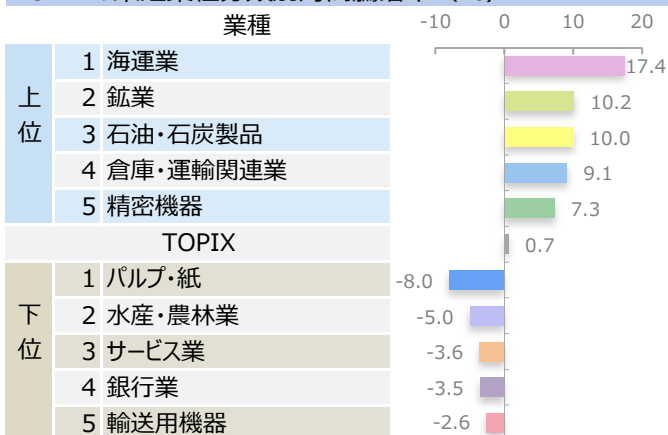
ご参考 市場動向



日経平均株価 (円)



TOPIXの東証業種分類別月間騰落率 (%)



※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

市場動向

月前半は、米FOMC（米連邦公開市場委員会）における0.5%の利上げと保有資産圧縮の決定により世界的に金融引き締めへの警戒感が高まるなか、雇用統計やCPI（消費者物価指数）によりインフレ圧力が改めて確認される結果となり軟調に推移しました。また、長期化するウクライナ情勢も相場の重石となりました。しかしその後は、主力企業の決算発表が一巡するなか、中国において上海でのロックダウン（都市封鎖）解除の方針が示されたことや住宅ローンの基準金利引き下げが発表されたことに加え、国内でも外国人観光客の受け入れ再開が発表されたことで、経済活動再開効果への期待が高まり上昇に転じました。業種別では、海運業、鉱業、石油・石炭製品などが市場をアウトパフォームした一方、パルプ・紙、水産・農林業、サービス業などがアンダーパフォームしました。

市場見通し

世界景気については、総じて底堅く推移しています。ウクライナ情勢、中国の景気と新型コロナの感染動向、米欧のインフレ・金融政策といった諸要因が世界経済の下方修正圧力となりますが、経済再開に伴う消費回復、設備投資の持ち直し、欧州・中国の財政刺激策などが需要の支えとなるため、回復軌道が続く可能性は高いとみています。株式市場は、岸田政権による景気配慮型の政策運営が続くなか、世界景気と企業業績の持続的な拡大が支援材料となり、緩やかな上昇傾向が続くと予想します。上述の世界経済への懸念に加え、市場予想を下回る会社計画などが株価の重石となっていますが、徐々に世界経済に対する不安感が後退し良好な企業業績に注目が集まることで、低位にあるバリュエーション（投資価値評価）は回復するとみています。

■ 設定・運用

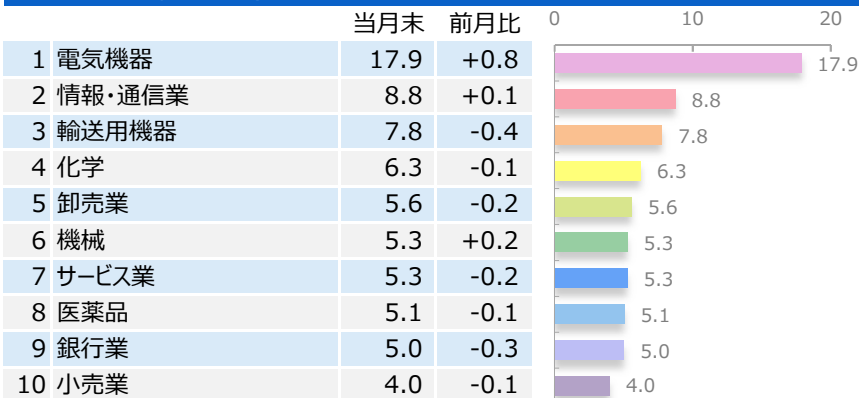


SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式 / E T F / インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

組入上位10業種 (%)



※ 業種は東証業種分類です。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 2,169)

銘柄	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.9
2 ソニーグループ	電気機器	3.0
3 キーエンス	電気機器	1.8
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.7
5 日本電信電話	情報・通信業	1.6
6 東京エレクトロン	電気機器	1.5
7 リクルートホールディングス	サービス業	1.3
8 日立製作所	電気機器	1.3
9 任天堂	その他製品	1.3
10 KDDI	情報・通信業	1.2

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

ファンドの特色

1. 東証株価指数（TOPIX）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
 - 信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象指数の変動率に一致させることを目的として、対象指数に採用されている銘柄（採用予定の銘柄を含みます。）の株式に投資します。
 - 信託財産中に占める個別銘柄の株数の比率は、対象指数における個別銘柄の時価総額構成比率から算出される株数の比率程度を維持することを原則とします。
2. 上場投資信託（ETF）であり、通常の投資信託とは仕組みが異なります。
 - 受益権は、東京証券取引所に上場しており、株式と同様に売買可能です。
 - 売買単位は、10口単位です。
 - 取引方法は、原則として株式と同様です。
 - 追加設定は、株式により行います。
 - 追加設定にかかる受益権の取得申込者は、ユニット（対象指数を構成する各銘柄の株式の数の構成比率に相当する比率により構成され、委託会社が対象指数の動きに連動すると想定する、各銘柄の株式からなるポートフォリオ）単位で、株式による取得申込みを行うことができます。
 - 委託会社は、取得申込受付日に適用されるユニットの銘柄および株数を決定し、販売会社に提示します。
 - 原則として、金銭による取得申込みはできません。
 - 受益権を株式と交換することができます。
 - 一定口数以上の受益権を保有する受益者は、当該受益権を当該受益権に相当する信託財産に属する株式と交換することができます。
 - 解約申込みにより、受益権を換金することはできません。
3. 年2回（4月および10月の8日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
 - 経費等控除後の配当等収益の全額を分配することを原則とします。
 - 売買益（評価損益を含みます。）からの分配は行いません。
 - 分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

投資リスク

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- ファンドは、東証株価指数（TOPIX）の変動率に一致させることを目的として運用を行いますが、以下の要因等により、対象インデックスの変動率に一致しないことがあります。
 - ・有価証券売買時のコスト、信託報酬やその他のファンド運営にかかる費用を負担すること
 - ・インデックス構成銘柄と組入有価証券との誤差が影響すること
 - ・取得申込みの一部が金銭にて行われた場合、または組入銘柄の配当金や権利処理等によって、ファンド内に現金が発生すること
 - ・組入銘柄の配当金を受け取ること（対象インデックスは配当金を含まない指数です。）
- ファンドは、東京証券取引所に上場し、当該取引所で取引されますが、その取引価格は、当該取引所における需給関係等を反映して決まります。したがって、ファンドの基準価額と取引価格は一致しないことがあります。

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

お申込みメモ

取得単位

1ユニット以上1ユニット単位

※委託会社は、取得申込受付日の2営業日前までに、取得申込受付日に適用されるユニットの銘柄および株数を決定し、販売会社に提示します。

取得申込みにかかる口数は、委託会社が定めるものとし、100口の整数倍とします。

取得申込

株式により取得申込みを行います。

取得価額

取得申込受付日の基準価額となります。（なお、基準価額は100口当たりで表示します。）

解約申込

解約申込みにより換金することはできません。

交換申込

受益権と株式を交換することができます。

交換単位

委託会社が定める一定口数の整数倍

交換価額

交換申込受付日の基準価額となります。

交換株式の交付

原則として、交換申込受付日から起算して3営業日目から、振替機関等の口座に交換の申込みを行った受益者にかかる株式の増加の記載または記録が行われます。

信託期間

無期限（2019年12月13日設定）

繰上償還

以下のいずれかに該当することとなった場合には、繰上償還します。

- 受益権を上場したすべての金融商品取引所において上場廃止となった場合
 - 対象指数が廃止された場合
 - 対象指数の計算方法その他の変更等に伴って委託会社または受託会社が必要と認めた信託約款の変更が書面決議により否決された場合
- また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。
- 繰上償還をすることが受益者にとって有利であると認めるとき
 - 残存口数が200万口を下回ることとなったとき
 - その他やむを得ない事情が発生したとき

決算日

毎年4月および10月の8日

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※分配金は、原則として、毎計算期間終了日から起算して40日以内の委託会社の指定する日に、名義登録受益者があらかじめ指定する預金口座等に当該分配金を振り込む方式により支払われます。

運用報告書

作成、交付は行いません。

課税関係

- 課税上は特定株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用が可能です。

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

お申込みメモ

取得・交換申込不可日

取得申込受付日、交換申込受付日が、以下に該当する場合には、取得、交換の申込みを受け付けません。ただし、委託会社の判断により、取得、交換の申込みの受け付けを行うことがあります。

- 1) 対象指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々の前営業日から起算して2営業日間
- 2) 対象指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々3営業日前から起算して4営業日間
- 3) 計算期間終了日の3営業日前から起算して3営業日間（ただし、計算期間終了日が休日（営業日でない日をいいます。）の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
- 4) この信託が終了することとなる場合において、信託終了日の直前5営業日間
- 5) 上記1)～4)のほか、委託会社が運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれのあるやむを得ない事情が生じたものと認めるとき

配当落日及び権利落日にかかる取得申込みについて

取得申込不可日の1)に該当する日（対象指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々の前営業日を除きます。）において、委託会社の判断により申込みを受け付けるときには、当該申込みにかかるユニットのうち、配当落または権利落対象銘柄の株式の時価総額に相当する金額については、金銭による取得ができるものとします。ただし、当該株式を取得するために必要な費用に相当する金額がかかります。ファンドの費用の注記をご覧ください。

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 売買委託手数料
取引所を通して売買される場合、取扱会社が別に定める売買委託手数料がかかります。
- 取得時手数料
販売会社がそれぞれ別に定める額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。
- 交換時手数料
販売会社がそれぞれ別に定める額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
2022年1月5日現在、以下の1) および2) を合計した額です。
 - 1) ファンドの純資産総額に年0.0814%（税抜き0.074%）以内の率を乗じた額
 - 2) 株式の貸付けの指図を行った場合は、その品貸料に0.55（税抜き0.5）以内を乗じて得た額
 - その他の費用・手数料
 - 上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料等、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。
 - 受益権の上場にかかる費用および消費税等に相当する金額は、信託財産中から支払うことができます。
※2022年1月5日現在、追加上場料は追加上場時の増加額に0.00825%（税抜き0.0075%）の率を乗じた額、年間上場料は毎年末のファンドの純資産総額に最大0.00825%（税抜き0.0075%）の率を乗じた額です。
 - 対象指数の商標（これに類する商標を含みます。）の使用料および消費税等に相当する金額は、信託財産中から支払うことができます。
※2022年1月5日現在、商標使用料はファンドの純資産総額に最大年0.033%（税抜き0.03%）の率を乗じた額です。ただし、165万円（税抜き150万円）を下回る場合は、165万円（税抜き150万円）となります。
- ※ ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。
- ※ 対象指数の構成銘柄の配当落日および権利落日に該当する日において、委託会社の判断により取得申込みを受け付けるときには、配当落または権利落対象銘柄の株式を信託財産において取得するために必要な経費に相当する金額として委託会社が定める金額（当該時価総額の0.15%）を徴収することができるものとします。
- ※ 取得申込者がユニットに含まれる株式の発行会社等である場合には、原則として当該株式の時価総額に相当する金額および当該株式を取得するために必要な経費に相当する金額（当該時価総額の0.15%）を金銭にて支払うものとします。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 分配金に対して20.315%

売却時及び交換時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 売却時、交換時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会ホームページ： <https://www.smd-am.co.jp>

コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

販売会社

ファンドの取得及び交換の受付等を行います。取扱販売会社については委託会社にお問い合わせください。

SMDAM トピックス上場投信

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／ETF／インデックス型

作成基準日：2022年05月31日

ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- TOPIXは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はJPXに帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見直しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント